

科目名	解剖学実習 I (標本解剖)【理学・作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	長 島 聖 司						
開講年次	1	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	運動器系の基礎となる骨と筋について標本や図譜などを用いて実習を行う。実習ではそれぞれの名称、形態、位置、位置関係、神経支配などを知るために観察とスケッチを行う。						
授業の 到達目標	解剖学実習 I では、将来、理学療法士、作業療法士として臨床的に必要な運動器について理解する。						
学習方法	実習						
テキスト及 び参考書等	平田幸男訳、分冊「解剖学アトラス I 運動器」、文光堂						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				90	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎				10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	骨学実習	①骨格の構成					
第 2 週		②頭蓋					
第 3 週		③胸の骨					
第 4 週		④上肢の骨					
第 5 週		⑤下肢の骨					
第 6 週		⑥関節					
第 7 週	筋学実習	①頭頸部の筋					
第 8 週		②体幹の筋					
第 9 週		③上肢の筋					
第 10 週		④下肢の筋					
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備考							